

最近の話題

三重大学大学院生物資源学研究所
附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター附帯施設演習林

新型コロナウイルス新規感染者数等の収束が見込まれない状況が続き、殆どの実習が通常計画どおり実施できず、延期された実習や、1回あたり参加者を縮小したうえでの日帰り分散開催、一部オンライン等の代替措置などの対応に追われた。フィールドサイエンスセンターでは演習林の他、農場、水産実験所、さらに練習船などへの実習も多く、新型コロナウイルス感染症対応で大学ないし各部局で定められた乗車定員制限のため必要台数が増加し、バスの確保（車両・予算等）も課題となった。宿泊実習について、第5波と第6波の間に1人1部屋1泊で実施した。2021年度に演習林からバイオマス利用に向けて出荷された未利用材は19.48tとなった。林内のナラ枯れ被害は2021年度に49本確認され、依然継続しており防除対策を継続している。



オンラインでの実習の様子



未利用バイオマス出荷の様子